

【山形県米沢市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

「米沢市教育振興基本計画」（計画期間：令和3年度から令和7年度）において、「自ら学び考え行動し、これからの時代を生き抜く力の育成」を掲げている。ICT環境に関する主な取組として、教員のICT活用力・指導力の向上および情報教育の推進が挙げられる。ICTや情報通信ネットワークに係る研修会の充実により、教職員のICT活用能力や情報モラルの向上を図り、わかる授業や魅力ある授業の充実を推進していく。そして、Society 5.0に対応して活躍できる人材を育成するために、主体的に情報を収集・選択・活用できる情報活用能力を育成することや、情報モラルの醸成を図ること等を目指している。

2 GIGA第1期の総括

本市では、国のGIGAスクール構想に基づき、令和3年度に市内全ての小・中学校において1人1台端末の整備を行った。そして、通信ネットワークの構築やクラウドサービスの積極的な活用等、GIGAスクール構想の実現に向けて必要な環境を整備してきた。情報教育が高度化かつ複雑化する現状をふまえ、ICTの円滑かつ効果的な利用を支援することを目的として、情報教育サポート事業の実施やICT支援員の配置等を行い、1人1台端末活用のための支援体制を強化してきた。

各校の情報教育担当教員等で構成される「情報教育研究員会」を本市教育研究所内に位置付け、情報活用能力育成のための学習内容一覧を作成したり、情報教育に関する実践事例を共有したりした。また、教職員のICT活用力および指導力向上を目的とした研修会を毎年複数回実施した。

1人1台端末を活用した授業や家庭学習は日常的になりつつあるが、現在も学校や教職員間でICTの活用力や活用頻度に差が見受けられる。今後も引き続き情報を共有したり研修会等の機会を設けたりすることで、より効果的なICT活用の在り方について理解の促進を図っていく。

3 1人1台端末の利活用方策

（1）1人1台端末の積極的活用

教職員のICT活用力および指導力向上を目的とした研修会について、国・県の動向や教職員のニーズ等を踏まえながら、今後も引き続き実施していく。

（2）個別最適・協働的な学びの充実

個別最適な学びおよび協働的な学びの場面におけるよりよいICT活用の在り方につ

いて、情報教育研究員会にて研究を深め、各校へ情報を発信することにより、児童生徒が日常的かつ効果的に1人1台端末を活用できる環境を整えていく。

(3) 学びの保障

現在、希望する児童生徒がオンライン機能等を活用して授業の参加・視聴ができるような取り組みが、市内の小・中学校において行われている。また、特別な支援を要する児童生徒に対して、1人1台端末を活用しながら、障がいの特性に応じた支援が行われている。このことについて、今後も引き続き継続していく。